

令和5年度（2023年度）

第1回 地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会 議事要旨

1 開催日時

令和5年（2023年）8月16日（水） 午後2時から午後3時15分まで

2 開催場所

地方独立行政法人市立吹田市民病院 講堂

※出席委員についてはオンラインにより出席

3 出席委員

後藤 満一 委員

御前 治 委員

飯原 弘二 委員

足立 泰美 委員

清水 和也 委員

4 意見提出委員

竹原 徹郎 委員

5 欠席委員

牛田 隆己 委員

6 市出席者

健康医療部長 梅森 徳晃

健康まちづくり室長 宮崎 直子

健康まちづくり室参事 白澤 耕一郎

健康まちづくり室主幹 伊勢田 学

健康まちづくり室主査 小松 亨恵

健康まちづくり室係員 宮垣 真理

7 市民病院出席者

理事長 矢野 雅彦

病院長 内藤 雅文

事務局次長 北國 嘉昭

病院総務室長 池上 直樹

医療事務室長 患者支援センター副センター長事務取扱 吉川 正秀

病院総務室主幹 熊迫 正博

病院総務室主幹 小宮山 稔

病院総務室主査 大森 則昭

病院総務室主査 稲垣 優
病院総務室主査 藤田 和也
病院総務室主査 山本 恵子
医療事務室参事 患者支援センター参事兼務 真嶋 良平
医療事務室主幹 患者支援センター主幹兼務 西嶋 義文
患者支援センター主査 向井 雅之

8 案件

- (1) 令和4年度の業務実績に関する評価について
- (2) その他

9 議事の概要

別紙のとおり

事務局

お待たせいたしました。本日はお忙しい中御出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、令和5年度地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会を開催いたします。

なお、本委員会の内容は、終了後ホームページでの公開を予定しております。議事録作成のため録音しますので、御了承いただきますようお願いいたします。

では、事前に配付させていただいております本日の資料の確認をさせていただきます

－配付資料の確認－

資料は、画面共有も行います。

開会にあたりまして、健康医療部長の梅森より御挨拶申し上げます。

事務局

－挨拶－

事務局

次に、参考資料1「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会 委員名簿」に従いまして、委員を御紹介いたします。

大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 名誉総長 後藤 満一 委員です。

吹田市医師会 会長 御前 治 委員です。

国立循環器病研究センター 病院長 飯原 弘二 委員です。

大阪大学医学部 附属病院 病院長 竹原 徹郎 委員です。

吹田商工会議所 副会頭 牛田 隆己 委員です。

甲南大学 経済学部 教授 足立 泰美 委員です。

日本公認会計士協会近畿会 清水 和也 委員です。

なお、竹原委員、牛田委員のお二方は、本日所用のため御欠席です。

本日、委員7名のうち、半数以上の御出席をいただいておりますので、参考資料2「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会規則」第5条第2項の規定により、本委員会は成立していることを御報告させていただきます。

続きまして、市立吹田市民病院の理事長及び病院長を御紹介いたします。

市立吹田市民病院 矢野 理事長 です。

市立吹田市民病院 内藤 病院長 です。

次に、委員長及び委員長職務代理者選出について、参考資料2「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会規則」を御覧ください。

委員長の選出について、第4条第1項に「委員会に委員長を置き、委員の互選に

より定める」とございます。恐れ入りますが、どなたか御推薦をお願いします。

委 員 御自身も病院の院長の経験があり、見識の深い後藤委員が最適だと思いますので、推薦させていただきます。

事務局 後藤委員を推薦される声がございましたが、皆様いかがでしょうか。

－異議なし－

御異議がないようですので、後藤委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委 員 はい、了解しました。

事務局 ありがとうございます。それでは、後藤委員に委員長をお願いします。
続きまして、委員長職務代理者の選出について、評価委員会規則第4条第3項に「委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。」とございます。委員長は、どなたか職務代理者の御指名をお願いいたします。

委員長 足立委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

事務局 ただ今、委員長より御指名がありましたので、足立委員には、委員長職務代理者をお引き受けいただけますでしょうか。

委 員 はい。承知しました。

事務局 ありがとうございます。それでは、足立委員に委員長職務代理者をお願いします。
それでは、後藤委員長と足立委員長職務代理者から、御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員長 －挨拶－

委員長代理 －挨拶－

事務局 それでは、以後の進行には委員長をお願いします。

委員長 それでは、これより、私が会議の進行をさせていただきます。実りの多い議論ができますよう、ぜひ皆様方の御協力をお願いします。

まず、本日の傍聴についてですが、傍聴希望の方はいますか。

事務局 本日、傍聴希望者はいないことを御報告します。

委員長 続きまして、本委員会への諮問について、事務局からお願いします。

事務局 それでは、本市から後藤委員長へ、諮問をさせていただきます。
本来なら諮問書は手交するべきところですが、本日の委員会はオンライン開催となりますので、画面共有にて御覧いただきます。
後日、委員長名を入れ・公印を押印した諮問書原本を後藤委員長に郵送でお送りし、委員の皆様には写しのデータをメールでお送りします。
それでは、部長の梅森が、諮問書を読み上げます。

事務局 ー諮問書読み上げー

委員長 続きまして、議事（１）「令和４年度の業務実績に関する評価について」、御意見をいただきたいと思いますが、その前に、本委員会の役割を確認します。
本委員会の役割は、市長が市民病院の業務実績評価を行うにあたり、客観的な評価が実施できるよう、市長の諮問に応じ、専門的な知見で意見を申し述べるというものです。
業務実績評価について意見を述べるにあたり、決算状況は非常に重要な情報であるため、まずは事務局から令和４年度の市民病院の決算状況について説明を受けます。
その後、事務局が作成した、令和４年度の業務実績評価（案）について、説明を受けたいと思います。
それでは決算状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料１－１ 財務諸表等
ー資料１－２ 令和４年度 決算状況により説明

委員長 ありがとうございました。今、決算状況ということで説明をしていただきました。ここまでの事務局からの説明について、各委員、確認しておきたい点などはありませんか。

委員長代理 今回 18 億円の黒字を出していますが、その要因は明らかに新型コロナウイルス感染症の補助金によるものです。予算段階では 2,300 万円なのが、決算額が 23 億円と、桁が 2 桁上がっています。ここで問題になるのが、今年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類になったことで、補助金の額によっては予算額相当の金額になることもあり得ます。次年度以降の補助金の動向を聞かせてください。

病 院 令和5年5月8日から9月末までは1日1床あたりの空床確保料の上限額が昨年度の半額、令和5年10月以降は0円となり、令和5年度以降、経営状況が厳しくなることが見込まれます。より効果的な経営をすべきだと考えています。

委員長代理 新型コロナウイルス感染症については、今後も対応していく必要があると思いますが、市民病院が地域の核となる病院であると考えた場合、広域的な面での吹田市での立ち位置と、新型コロナウイルス感染症への対応について大阪府はどのように考えていますか。

回答は急がないので、患者を増やすにしても市民病院は地域の基幹病院なので、府全体で考えていく視点も必要だと思うので、何か情報があれば教えてほしいです。

委員長 新年度の立ち上がりがどの程度かという情報をもらえれば、今の質問にも答えられると思うので、後ほどお願いします。

委 員 新型コロナウイルス感染症の補助金等による収益が大きかったと思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった場合の数値がどうだったのか、概算又は肌感覚としてどう考えていますか。

病 院 新型コロナウイルス感染症の補助金で約20億円ありましたが、もし新型コロナウイルス感染症のため病床確保していた年間平均約70床に一般診療患者を受入れれたと考えると、10億円以上の収益が見込めるので、おそらく大きな問題なく純損益はプラスになっていたと考えています。

委 員 令和4年度予算時は3,100万円の赤字となっていますが、令和5年度だと当期純損益はどのような見込みですか。

病 院 令和5年度予算については、新型コロナウイルス感染症の影響がないものとして策定しており、純損益は9,400万円の赤字としています。赤字予算とした理由は、光熱費の高騰の影響を加味したことによります。

委 員 今の病院の実力からするとそれほど大きな赤字ではないと思いますが、黒字化を目指して頑張してほしいと思います。

委員長 次に、令和4年度の業務実績評価（案）について、委員会としてどのように意見を述べれば良いかを含め、事務局から説明をお願いします。

事務局 一資料2 地方独立行政法人市立吹田市民病院 令和4年度 項目別評価における

評価結果（案）一覧表

- －資料 3－1 地方独立行政法人市立吹田市民病院 令和 4 年度の業務実績に関する評価結果報告書【全体評価・大項目評価】（案）
- －資料 3－2 地方独立行政法人市立吹田市民病院 令和 4 年度の業務実績に関する評価結果報告書【小項目評価】（案）により説明

委員長 ありがとうございます。事務局からの説明を受けて、令和 4 年度の業務実績評価（案）に関し、御意見・御質問を伺いたいと思いますが、その前に、欠席委員からの御意見の紹介を、事務局からお願いします。

事務局 委員より 2 点御質問をいただいています。
・年度計画はいつ立てていますか。
・前年度の実績値よりも年度計画の目標値が低いケースがありますが（がん手術件数など）が、年度計画の数値はどのように定めていますか。

委員長 こちらについて回答をお願いします。

病 院 4 年ごとに策定している中期計画における目標値をベースに、これを中期計画期間中（令和 4 年度～令和 7 年度）に達成することを目指し、中期計画期間中の各年度の年度計画の目標値を定めています。
がんに関する各目標指標の中期計画における目標値については、策定年度の前年度にあたる令和 2 年度の実績と国立がん研究センターが公表している将来推計データを基に定めています。そのため、令和 4 年度目標値は令和 3 年度の実績より低くなっています。

委 員 新型コロナウイルス感染症の補助金が 22 億円となっていますが、病床利用率の指標についてお聞かせください。病床利用については、空床確保や看護師などマンパワーの確保のため休床を余儀なくされたと思いますが、この指標のもとになる分母はその都度実際に利用できる病床数なののでしょうか、それとも新型コロナウイルス感染症以前のように全ての病床数なののでしょうか。

病 院 目標値、実績値ともに全ての病床数（431 床）を分母としています。

委 員 医師の働き方改革について、宿日直許可を取られたことは良いことだと思います。時間外労働時間の部分で、診療科によって大きな違いはありますか。眼科や皮膚科、産科、小児科では実情が異なると思います。もし偏りがあるようなら、マンパワーを増やす等の方策を取られてはどうでしょうか。

病 院 特定の科に偏っているということはありません。人数が少ない科もありますが宿日直などに、応援医師に来てもらうなどしています。

委 員 今後、応援医師の派遣が難しくなることもあるかもしれないので留意していただきたいです。また、救急医療を進められたいという市の意見がありましたが、そのためにはマンパワーが必要なので外部からの応援が望めないときには適切な人員配置を考えていかなければならないと思います。

委員長 がんの手術件数が増えていますが、外科の医師も働き方改革を実践しているのでしょうか。

病 院 外科のみの働き方改革ではありませんが、宿日直許可を取得し時間外労働の削減に努めています。また、宿日直が一人の医師に偏らないよう時間外労働が多いときは副院長が手術等の調整をしています。

委 員 入院診療単価、外来診療単価いずれも昨年度実績より上昇し目標を上回っており素晴らしいと思います。この単価には新型コロナウイルス感染症患者の影響も入っていると思いますが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も維持できますか。

病 院 まず、今回の診療単価が上がった理由としては、平均在院日数の短縮や手術件数を確保したことによるものですが、この入院患者の中に含まれる新型コロナウイルス感染症の患者によって単価が2,000円程度上昇しています。また、診療単価の高い比較的重症な患者が増え、単価の低い患者（誤嚥性肺炎や小児感染症など）が減少しているもので、新型コロナウイルス感染症による影響で大きく患者構造が変化していることが考えられます。

今後新型コロナウイルス感染症が落ち着いて新型コロナウイルス感染症患者が減少し、これまで受診控えをしていた患者が戻ってくることが考えられるので、このまま上昇するという状況ではなく、効率的な運営を目指していかなければならないと思っています。

患者構造の変化による影響で上昇した入院診療単価75,591円については、吹田市民病院として本来の入院患者を受け入れる単価としては高すぎる数値となっており、今年度はここまで高い数値は期待できないと考えています。

また、昨年度新型コロナウイルス感染症の第7波（7、8月）、8波（年末）の時にかなり病床がひっ迫し、特に第7波の時には病棟を3つの専用病棟で対応しました。また、職員に新型コロナウイルス感染症陽性者がたくさん出たことにより患者を受け入れられず病床利用率が68.7%と低い数値になりました。現在新型コロナウイルス感染症専用病棟を1病棟作っていますが、今年度の方向性としてはこれをなくして一

般急性期病棟で新型コロナウイルス感染症患者を診ていくことにし、できるだけ一般急性期の患者を多く診ていけるよう努力します。

委員長代理

これまでの質疑を聞くと感染症医療の評価については明らかに新型コロナウイルス感染症が要となっていることがよく分かりました。

新型コロナウイルス感染症に対して真摯に向き合っている点を評価するなら、今回、感染症医療については新設項目となっており、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで今後の対応がどう動くかわからないだけに、今後の評価が新型コロナウイルス感染症に特化していいのか何とも言い難い印象があります。

しかし、あくまで今回は令和4年度の評価であり、全体評価（資料3-1）の9ページにあるように発熱外来の受け入れ実施、感染管理認定看護師による高齢者施設への研修、地域の診療所への訪問・助言、年度計画を上回る実績があり、（公財）日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価では医療関連感染制御についてS評価を受けている、そういったことを考えた場合、数値目標は上回り、なおかつ質的な面でもかなり良い評価を得ているのではないかと感じます。今回4の評価ですが、5類に移行したことでこの先5になる可能性は低いと思います。4から5にするには何をすればよかったのでしょうか。そもそも5と4の違いは何でしょうか。5でも良かったのではないかと感じております。

事務局

評価の4と5の違いは、基準を「大幅に上回っている」が5、「上回っている」が4としており、「大幅に」という定義が難しいですが、他市を見ると、「大阪府内や全国規模で上位になるような実績があった」を5の評価としている事例もありました。市としては、今回感染症医療に関して市民病院で様々な面で努力していただいているところは評価しており、4と5の違いはありますが、今後もより主体性を持った更なる取組を期待したいこともあって4の評価としました。

委員長代理

恐らくそういったことだと思いますが、他の項目にも言えますが、本来このような評価は客観的な評価としてみていくべきものだと思います。

主観的な評価が最終的に4と5をつける決め手となってしまった場合に疑問が残ります。本来評価は客観的に誰が見てもわかるものであるにもかかわらず、それが主観的な評価で変わって良いのでしょうか。

特に感染症医療については、市民病院の本来の役割である地域医療を最大限に行ったのであれば5であってもおかしくないと思います。

市、病院が同じ4の評価を付けているのであれば現場の方の声が一番だと思いますが、今後この評価指標でいくのであればこの先5がつけられなくなってしまうので留意点としてお伝えします。決して4の評価を否としているわけではありません。

委員長

例えば、数値目標として何パーセント上乘せしてできていれば何点になる、とい

ったようなことができればより客観的になるのではと思いますが、何か具体的に点数を考える指標はありますか。

委員長代理 誰が見てもわかるものとは客観的な数値であることが必要です。今回客観的な指標をクリアできていて、定性的な評価もこれだけ書かれているのであれば第三者が見ても納得いくと思うので、客観的な数値で評価してもらえたらと思います。それが最終的には現場の方のやる気につながっていけば良いと思います。

委員長 次期計画策定の際にはこれらを考慮してほしいと思います。

委 員 本日の項目には入っていませんが、市民病院ではサイバー攻撃やシステムダウン等に対する対策はとっていますか。

病 院 サイバーセキュリティが求められていることから、前年度、バックアップ体制を強化し、遠隔地保管を行っています。外部接続がセキュリティの弱点であることから、院内ネットワーク環境を総点検し、必要な対策を取りました。

委 員 システムがダウンした時に迅速な対応がとれますか。

病 院 毎年、大規模災害の訓練を行う際に電子カルテが使えないという想定で、紙伝票や紙カルテを使用した運用の訓練をしています。加えて今後行いたいと考えているのは、業務の継続計画です。今後、システム面での立案をして訓練も行っていきたいです。

委員長 急性期・総合医療センターでは電子カルテのみでなく、PDF カルテを別のルートで確保しており、それが患者の既往歴や検査等の情報を引き出すのに役に立ったということがありました。セキュリティをきっちり管理できる仕組み・人を充てることと、バックアップは複数の形で取っておくということが大事だと思います。

委 員 今回の評価とは直接関連しませんが、旧市民病院跡地がまだ売却されていませんが、現時点の状況はどうなっていますか。

病 院 令和3年7月に行った2回目の公募が不調になりました。現在、次回公募に向け、造成工事等に係る再調査や土地の再鑑定を行っており、今年度中に公募を始めたいと考えています。

委員長 皆様、御意見をいただきましてありがとうございました。

何か文言の修正をすべきところはありませんでしょうか。なければこちらの内容で進めさせていただきます。

本委員会で出た意見を集約した答申書の確認については、委員長に一任していただく、ということによろしいでしょうか。

－異議なし－

委員長

では、そのようにさせていただきます。

それでは次の案件に移ります。

議事（２）「その他について」、事務局から何かありますか。

事務局

事務局より今後のスケジュールについて説明します。

本日は評価報告（案）について多くの御意見をいただきありがとうございました。御意見を踏まえ、最終の評価結果報告書を取りまとめ、市民病院に通知する予定です。

委員の皆様にも評価結果報告書の確定版をお送りしますので、それをもって評価結果の報告とさせていただきますと考えています。

また、９月の吹田市議会で今回の評価結果を報告する予定です。

今年度の評価委員会の開催は本日のみとなり、次年度につきましては日程が近づきましたら連絡しますのでよろしくお願いします。

委員長

それでは、以上を持ちまして、本日の評価委員会を閉会します。

長時間、御協力をいただき、ありがとうございました。